

概説書解きまくり講座 原価計算#01

(計算問題限定となります)

NEW **新企画 (2022.9対策予定です)**

概説書もどき 解まくり講座
(原価計算のみ) 予価 8,000円

※本講座を申し込まれている場合は、料金に含まれます。

部門別計算 (設例9-4)

この講座は概説書の設例・例題のうち基本講座・過去問ゼミで説明していないものを一部のマニアック論点や説明不要論点を除き、できるだけ解説しようとするものです。

昨今の原価計算の難易度アップに対応するため、開発した講座です。

令和3年9月18日から収録開始しますが、他の仕事との関連もあり月に5~10本のペースで収録致します。

基本講座を学習した前提での講座となりますので、解き方が中心となります。ご了承ください。

また初回講座につきましては、受講検討者様へのプロモーションを兼ねています。基本講義を受けていない方も見られますので解き方以外の部分も説明しています。あわせてご了承ください。

では、早速まいりましょう。

設例 9 - 4

そもそも予定配賦とは？簡単に復習します。

- ① 来期の間接費の予算と基準操業度を定める
- ② 予定配賦率を決定する
- ③ 当月の実際操業度を計算する
- ④ 予定配賦額 (②×③) を計算する
- ⑤ 実際間接費と比較して差異分析を行う

- | | | |
|----------------------------------|------------------------------|------------------------------------|
| ① 予算 1,000,000 円
基準操業度 100 時間 | ③ 実際操業度 90 時間
④ 900,000 円 | ⑤ 実際 1,020,000 円
不利差異 120,000 円 |
| ② 10,000 円 | | |



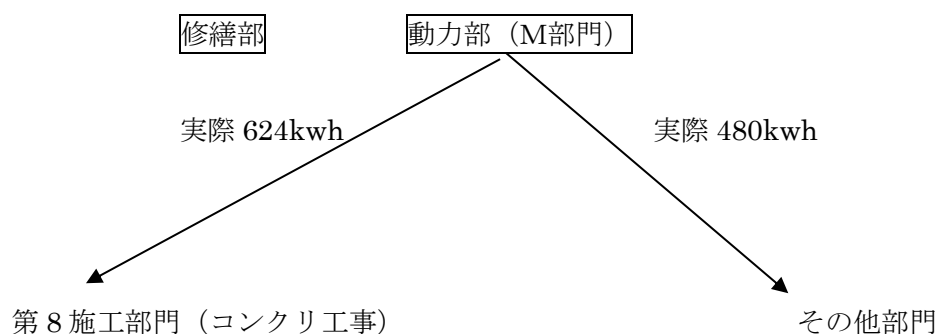
しっかり復習したい方は、人気動画を確認して下さい。では、設例の説明に参ります



日商簿記2級

1	予定配賦と差異分析を 20分で理解する 弥生カレッジCMC横山講師による「予定配賦」のワンポイント解説（無料講座）です。	
2	標準原価計算を 30分で得意にしよう 弥生カレッジCMCの日商簿記講座の受講生フォロー動画です。標準原価計算の講座を受けたが、問題の解き方で悩んでいる方向けの講座です。	

①イメージ図



(予算データ) 第8施工部門

変動費	固定費
1,643,040	919,800

基準操業度 252h

M部門からの振替額 (配賦額) 含む

予定配賦率

変動費@6,520

固定費@3,650 (合計 10,170)

(予算データ) M部門

変動費	固定費
137,800	100,700

基準操業度 1,060kwh

変動費@130

固定費@95 (合計 225)

(実際データ) 第8施工部門

176	177	178	合計
96h	128h	23h	247h

変動費	固定費
1,532,910	840,190

M部門からの振替額含まない

(実際データ) M部門

変動費	固定費
144,910	102,650

※差異分析はベースをあわせなければならない

